

防 除 情 報

平成17年8月18日
長崎県病害虫防除所長

平成17年度病害虫発生予察 防除情報第11号

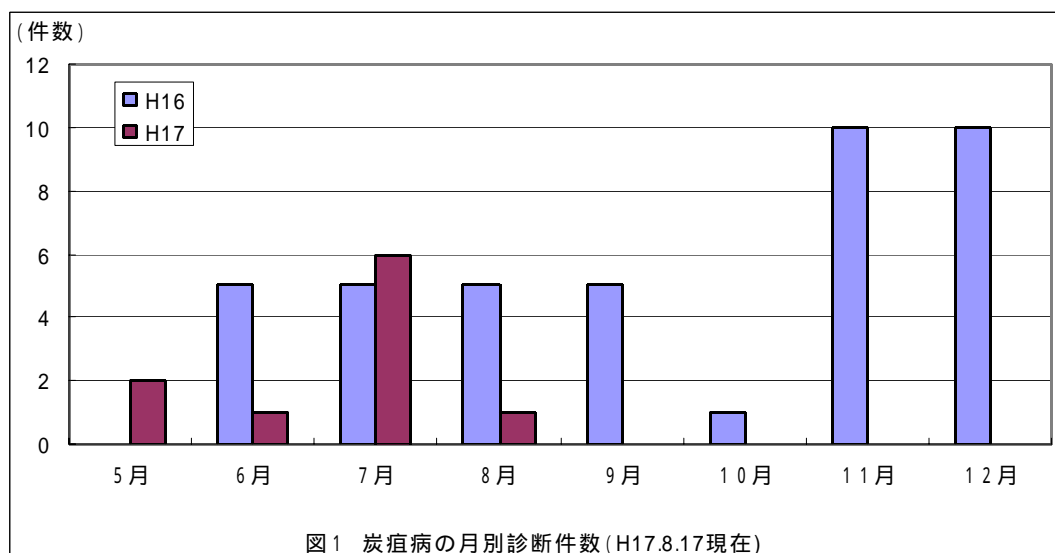
いちご炭疽病の防除対策について

いちご炭疽病と葉枯炭疽病（俗称）が一部地域で発生しています。今後の発生に注意し、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

- 1) 8月上旬の巡回調査（33筆）の結果、*C. acutatum*（通称：葉枯炭疽病）の発病株率は0.6%（1.0%）、発生圃場率は6%（13%）であった。また、*G. cingulata*の発病株率は0.2%（0.5%）、発生圃場率は15%（12%）と平年並の発生であった。
- 2) 病害虫防除所への診断依頼（図1）及び病害虫防除員の調査結果では、8月に入り一部多発圃場が確認されているが、現在降雨が少ない状況で被害の拡大は抑えられている。
- 3) 昨年は県内各地で本病が多発しており、育苗圃場などにおける病原菌の密度が高くなっていると予想されるので、降雨や台風の襲来など今後の気象次第では発生が増加することが予想される。



2. 防除対策

- 1) 育苗床が多湿にならないように、密植を避け、排水対策を確実に行う。
- 2) 高設育苗や全面マルチを行い、降雨等による地面からの病原菌の跳ね上がりを防止する。
- 3) 発病した子苗およびその周辺の株は速やかに処分し、本圃に持ち込まないようにする。除去した発病株や茎葉は、圃場内やその周辺に放置しない。
- 4) 定期的に薬剤防除する。*C. acutatum*による炭疽病には、バイコラール水和剤は防除効果が低いので注意する。
- 5) 降雨後速やかに防除を行う。